

報 告 書

日時	令和2年1月22日（水） 13時30分～16時30分
研修名	ネットトラブル防止サミット
参加者	木村 大矢
報告者	大矢純子 （次回運営委員会報告者：大矢純子 ）

報告内容

【研修内容】（課題・講師・講義内容など）

さいたま市民会館浦和にて埼玉県教育委員主催のネットトラブル防止サミットへ参加致しました。埼玉県が進める「生徒自身による『ネット利用ルール』づくり」というタイトルに沿って、SNS上のいじめ、犯罪などのネットトラブルの解決に向けて県内の推進校に指定された公立中学校6校／県立高校9校の代表生徒達が各学校のネット利用のルールを作り、ルールに沿った活動内容の発表がされました。各学校の取り組みとして、誹謗・中傷などいじめのトラブルに巻き込まれたことがあるかないかをアンケート調査を実施、文化祭などの学校行事を通じてルールのポスターを作成、掲示する、生徒達でSNSトラブルの背景にした寸劇を全校集会で披露し、身近に起こるようなネットトラブルを考えてもらうなど各校特色あるルール作りとルールの広め方について発表してりました。

後半は中学生・高校生によるパネルディスカッションでした。コーディネーターとしてトーンモバイル株式会社工藤陽介氏を招き、『中高生のネット事情、どのようにネットと向き合う？』をテーマに、生徒達のネット利用の状況、ネットトラブルにあったことがあるかないか、利用することで気をつけていることなど生徒の素直な気持ちをパネリストが引きだし、ネットトラブルを起こさない、守るにはどうしたら良いかを議論しました。ツイッターやインスタグラムへの動画や写真を投稿するにあたって気をつけるべきこと、個人情報につながるようなこと（部屋の中や周辺の建物、駅など）の写真や発言は投稿しない、ネットを通じて知り合った人との接し方、会う場合には慎重になる（相手の性別、年齢は嘘かもしれない、会う場所や時間なども考える）、トラブルに巻き込まれた時にはどうするか（親や先生、友人などに相談する）などの意見が交わされました。また1日にどのくらいスマホを利用しているのか生徒達に挙手してもらったところ、1時間以上利用しているという生徒が多く、各家庭のネット利用ルールの発表もありました。中学生は一定時間以上になるとスマホが利用できなくなるアプリを親が入れているなど自主性よりも親が管理していることがわかりました。



【意見・感想】

今回のサミットでは生徒達が一日どのくらいスマホやPCでインターネットを利用しているのかを挙手してもらったのですが、多くは1時間以上利用しているそうです。我息子も同じくスマホを手にしていて時間が多く、親としてはスマホ依存ではないかと悩みどころだったため、とても有意義な内容でした。子ども達の普段のインターネットの利用の様子（オンラインゲームをする、趣味のイラストをツイッターに載せる、ライブのチケットを知り合いから買う）を知り、子ども達がネットトラブルに巻き込まれないように個々に注意を払って利用していること、家庭内でも具体的なルールがあるなどの情報が得られました。我が家も子どもと話す機会を作りたいと思いました。

単に各学校の取組みの発表だけにとどまらず、パネルディスカッション形式で子供たちの本音を聞き出すという内容がとても良かったです。自由を尊重し、学生生活を楽しむ西高生にもパネルディスカッションしてもらい子供たちの本音を保護者が聞く機会があれば良いかなと思いました。